

[成果情報名]ブルーレースフラワー新品種「岡山 BLF1号」の育成

[要約]従来品種に比べ、分枝が横方向へ広がりにくい立ち性のブルーレースフラワー新品種「岡山 BLF1号」を育成した。

[キーワード]ブルーレースフラワー、新品種、立ち性、岡山 BLF1号

[担当]野菜・花研究室

[代表連絡先]電話 086-955-0277

[研究所名]岡山県農林水産総合センター農業研究所

[分類]研究成果情報

[背景・ねらい]

市販のブルーレースフラワーは、枝が横へ広がるため収穫に手間がかかることなどから、需要はあるものの生産量が減少している。そこで、分枝が横方向へ広がりやすく作業性の良い品種を育成する。

[成果の内容・特徴]

1. 2002年に市販品種（品種名「ブルー」）96個体から優良9個体を選抜し、2004～2007年にかけて系統選抜を行った。2008～2010年に特性調査、栽培試験により形質が固定していることを確認した。2011年に現地試験で有望性を確認し、品種登録申請を行った。
2. 「岡山 BLF1号」は、市販品種と比較し、平均開花日は若干遅く、草丈は短い。花の大きさや花数は、市販品種と同等である。分枝角度は、市販品種より小さく立ち性である。側枝数は、市販品種より若干少ない（表1、図1）。
3. 現地試験の結果、枝が横へ広がりにくい特性が確認でき、切り花長も十分確保できた（表2）。生産者からは、栽培と収穫が容易との評価を得た。

[成果の活用面・留意点]

1. 市販品種より草丈が短いため、2月から5月播種の作型では、出荷基準である80cm以上の草丈は確保できるが、草丈が短くなる可能性がある。
2. 8月から10月播種の作型では、開花を早めるため電照による長日処理が必要である。
3. 当面、種子供給は岡山県内に限定している。

[具体的データ]

表1 「岡山BLF1号」の特徴

品種	平均開花日 (月日)	草丈 (cm)	花径 (cm)	花数 (個)	分枝角度 ^z (°)	側枝数 (本)
岡山BLF1号	4月19日	101.3	4.5	54.3	18.0	11.9
市販品種1	4月12日	123.4	4.9	56.7	32.3	12.7
市販品種2	4月15日	125.6	4.8	57.8	30.7	13.3

耕種概要) 播種: 2009年9月16日、定植: 11月2日、摘心: 有(3本仕立て)

加温温度: 10℃、電照: 定植直後から切り花終了まで、暗期中断(22時~2時)

分枝角度^z: 最下部側枝と主茎との角度を計測。栽植密度は16.6本/m²。

表2 「岡山BLF1号」の開花時期と切り花品質(現地試験)

試験地	品種	栽植密度 (本/m ²)	開花時期	草丈 (cm)	花径 (cm)	茎径 (mm)	側枝数 (本)	分枝 角度 ^z (°)
倉敷市	岡山BLF1号	8.3	5月下旬	104	5.1	9.6	18	31
	市販品種	8.3	5月中下旬	119	5.6	10.9	14	40
玉野市	岡山BLF1号	16.6	6月中旬	105	4.5	10.0	16	23
	市販品種	16.6	6月上中旬	123	5.7	11.0	18	35

耕種概要) 播種: 2012年1月6日、定植: 2月24日(倉敷)、3月3日(玉野)

加温温度: 10℃(倉敷市)、2℃(玉野市)、無摘心栽培

電照: 定植直後から切り花終了まで暗期中断(22時~2時)

分枝角度^z: 最下部側枝と主茎との角度を計測



図1. 切り花(左: 新品種、右: 市販品種)

(森本泰史、森 義雄、藤本拓郎)

[その他]

研究課題名: 1) ブランド化を目指した特産花きの品種選抜と栽培法の改善

2) ブルーレースフラワー新品種候補の現地試験

予算区分: 県単

研究期間: 1) 2008~2010年度、2) 2011~2012年度

研究担当者: 土居典秀、森 義雄、藤本拓郎、綱島健司、中島 拓

発表論文等: 土居典秀ら「岡山 BLF1号」品種登録出願 2012年6月28日(第27156号)